

伊賀の自然

第12回

『セツブンソウ』



この花は節分の頃に咲くので、セツブンソウと呼ばれています。節分と言っても旧暦の節分をさすので、現在の暦では3月のはじめ頃にあたります。草丈は10cm程で直径1～2cm位の小さな花を咲かせます。伊賀では青山高原の麓に少しだけ残っており、地元の人々に大切に守られています。

現在の暦は旧暦より約1ヶ月早く、3月の桃の節句には桃はまだ咲いていません。5月の端午の節句には柏餅に使うカシワの若葉も、チマキに使うアシの若葉もまだ出ておらず、冷凍や塩蔵の葉を使っています。旧暦の正月は寒さが和らぎ出す時期で、節分はもう春です。旧暦に合わせて自然の営みを楽しむのなかなか良いものです。

伊賀の山並み 沼木山、見通山、鷺の巣

沼木山は前々回と前回に紹介した、2つの伊賀富士（尼が岳・倶留尊山）の間に見える山です。この山だけ見ると中々に渋い山容なのですが、名峰二山に挟まれているせいか、注目されることは少ないようです。沼木山山頂付近には沼木大明神が祀られており、沼木山の南にある見通山と鷺の巣には高い岩壁があり、イヌワシの巣があったと言う立派な山です。



中央部分 沼木山 見通山 鷺の巣

武田恵世

歯科医師、歯学博士 伊賀市上野桑町で開業。伊賀市環境保全市民会議 レッドデータブック作成委員会 委員長。環境省希少野生動植物種保存推進員。日本鳥学会、日本生態学会 会員他。著書に「風力発電の不都合な真実」（アットワークス刊）などがある。